ふくしの将軍野

F U K U S H I N O

■発行　将軍野地区社会福祉協議会　将軍野地区コミュニティセンター内　TEL845－1408

大震災に思う

将軍野地区
社会福祉協議会
会長　奥村　紀男

今冬は、十二月には根雪に、年が明けてからも降り続き平年の二倍以上の積雪で、皆様には除雪作業に大変ご苦労されたことと思います。また、想像以上の寒波による低温続きで、健康・体調管理にも気を使われたこととお察しいたします。

日頃より、地区社会福祉協議会に対しまして多大のご支援・ご協力にこころから厚く御礼申しあげます。

さて、二万人近い方が死亡・行方不明となり、生活基盤の一切を流失し、家族を引き裂かれるなど悲惨な災害となり、いまだに三十五万人が避難生活を送るほどの未曾有の被害をもたらした東日本大震災・原発事故から一年が経ちます。

この間、被災された方々の、震災への恨み事も言わず、生活の再建・復興に向け懸命に努力されている姿に感動するとともに、日本人の心の強さをあらためて認識させられました。

また、震災直後から被災者の方々からは、地域の人々の繋がりの強さや家族の絆の深さを非常に強く感じたのは私だけではないと思います。

一方では、仮説住宅での一人暮らしの方の孤立化や孤独死などのように、人と人の繋がりが途絶えてしまったことも伝えられています。

近年、核家族化が進むとともに、人と人との繋がりや絆が希薄になっていると言われていますが、将軍野地区においても高齢者世帯や一人暮らし世帯が増加していることを考えると、今回の震災後に伝えられている事柄を、当地区の今後のコミュニティのあり方を考えていく上での教訓とする必要があると思っています。

近隣・地域の繋がりや絆の大切さを再確認し、向こう三軒両隣が協力し合い、助け合い、見守りあって暮らしていこうではありませんか。

社会福祉協議会 将軍野 24.3.28 収受

平成23年度募金等実績

（単位：円、件）

町内会名	市社協会員会費		赤十字協賛会		赤い羽根共同募金		歳末助け合い募金		東日本大震災義援金
	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
将軍野四区	144,000	400	254,500	473	181,651	469	183,029	453	50,000
栄町	108,000	300	*130,000	300	*150,000	300	*100,000	300	30,000
二葉町	72,000	200	131,000	248	105,620	255	109,328	254	30,000
東花園町	46,800	130	123,650	227	*110,000	220	106,251	232	148,423
松宮町	39,600	110	55,000	99	55,000	110	44,290	86	10,000
遊園地北	10,800	30	29,000	55	*30,500	66	30,045	60	7,000
遊園地東	14,760	41	26,300	41	21,733	41	23,246	42	32,700
遊園地南	36,000	100	99,200	178	81,500	178	70,555	168	50,000
松園町	25,200	70	39,000	60	*25,000	70	*25,000	70	7,000
高野二区	28,800	80	70,000	123	*39,000	130	*32,500	130	13,000
火力	36,000	100	50,000	100	*50,000	100	*50,000	100	10,000
その他					286				
地区社協									100,000
個人									50,000
合計	561,960	1,561	1,007,650	1,904	850,290	1,939	774,244	1,895	538,123

＊印は、町内会費からの一括募金。

地区へのまごころ

地区社協に対して香典返しとしてご芳志をいただきました。

「秋田市社協だより」にも紹介されておりますが、「ふくしの将軍野」にも掲載し重ねてお礼申しあげます。

小笠原米吉様　五〇、〇〇〇円
櫻田　仁様　一〇、〇〇〇円

表彰おめでとうございます

厚生労働省　社会福祉功労
厚生労働大臣表彰　三浦　智子

秋田市社会福祉協議会
功労者表彰　加賀屋　昇

秋田県共同募金会
功労者表彰　伊藤　達郎
中道真知子

一人暮らし高齢者見守り小ネットワークの協力者

・将軍野四区
高橋　京子
塩谷　啓子

・栄町
澤田　幸子
増村富美子

・遊園地北
永井　仁子

・二葉町
岩谷　久子
大野　和子

・遊園地南
遠藤ヒロ子

・東花園町
安田　晴子
水梨　容子
田辺喜美子

地区社会福祉協議会役員

会長　奥村紀男
副会長　三浦智子
〃　鎌田金光
〃　外山宗平
会計　加賀美洋子
監事　加賀屋金三郎
〃　深井鈴美
事務局　将軍野地区コミュニティセンター

あとがき

「ふくしの将軍野」も何とか二年続けて発行することができました。

これからもできるだけ毎年発行できるよう努力してまいりますので、皆様からのご寄稿をお待ちしております。

今後とも、地区社協への一層のご協力をお願いいたします。

新任民生児童委員として

東花園町
民生・児童委員
最上　誠子

平成二十三年十二月、東花園町の民生児童委員になってから、一年と少しが過ぎようとしています。町内のこと、民生児童委員の役目など、よく分からないままお引き受けしてしまった私ですが、先輩の民生委員、また、町内の役員の方々の助けをお借りしながら、何とか務めを果たしている毎日です。

この一年の中で一番心に残るのは、やはり東日本大震災の日のことです。夕方、大急ぎで町内を回りました。激しい揺れ、そしてその後の停電、お一人暮らしの方々の不安な気持ちがひしひしと伝わってきました。私のような新米の民生委員でも頼りにしてくださっているのがよく分かり、民生委員の役目の重さを実感しました。

一年がたった現在、町内の実態がようやく把握できるようになりました。東花園町も、ご多分にもれず、高齢化が進み、一人暮らしのお年寄りも多くなっています。でも、皆さん、元気に助け合って暮らしています。敬老会やふれあい元気教室でお会いする方たちには、逆に元気をもらうくらいのパワーがあります。地域の子どもたちも明るい挨拶をしてくれる頼もしい子どもたちばかりです。

地域の皆さんが、これからも安心して仲良く暮らしていくことができるように、微力ではありますが、力を尽くしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

民生・児童委員の一年生として

栄町
民生・児童委員
佐藤　登

私が今回、民生・児童委員に就任したのが平成二十二年十二月一日付けでした。

まず一番に驚いたことがボランティア活動の仕事だと思っていたら、厚生大臣の委嘱という内容で福祉行政への協力機関としての性格で、公的に付与されていることでした。

民生・児童委員は「身分はあくまでも民間奉仕者でありながら、行う職務は法的に義務付けられた公務である。」と言われる所であり責任が重大の委員を引き受けてしまったと思いました。

私に出来る委員なのか自問自答しながらボランティアとしての出来る範囲内でやろうと思い、担当地区である土崎南地区民生・児童委員会の会議に出席して、各地区担当委員の先輩委員から「まず自分で出来ることからやればよい」と言われて少し安心するとともに一番目に私が担当する地区を覚えることから始めました。

今回の委員を引き受けた後の三月十一日の東日本大震災の発生があり、どうすれば良いかと思いながら担当地区台帳マップを頼りに地区支援者の自宅を訪問して安否確認を実施し「ひとり暮らしの高齢者の声かけ廻りをしたら非常に喜んでいただき民生委員をやってよかった」と思いました。

その他に将軍野地区社会福祉協議会のお手伝いもあるとのことで、私が委員を引き受けたときの内容をお知らせしていなかったため、びっくりしましたが、地区社会福祉協議会で実施している敬老会やひとり暮らし高齢者のレクリエーション、その他いろいろな催し物に地区の方々は「もっともっと参加」してもらい、元気になってもらいたいと思います。

私自身はまだまだ「一年生で何も分かりませんが」諸先輩のアドバイスを戴きながら、私が出来ることから今後も続けていきます。

地区の皆様と少しでもお手伝いが出来るよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。

救急医療情報キット（安心キット）事業について

「高齢者や障がい者などの安全・安心を確保するため、かかりつけ医や医療情報を専用の容器に入れ、自宅冷蔵庫に保管しておくことで、万一の救急時に備える」を趣旨に、秋田市社会福祉協議会が事業主体となって、二十二年度に開始した事業ですが、将軍野地区では二十三年度から実施しました。

安心キットを利用できる方は、
一、七十五歳以上一人暮らし世帯
二、八十歳以上だけの世帯
三、その他、安心キットの設置が必要と認められる方
の内、設置を希望する方に無料で配布するものです。

安心キットは、保管容器、安心カード、ステッカー（マグネット式・冷蔵庫用とシール式・玄関用）の四点セットで、安心カードに必要事項を記入し、容器に入れ冷蔵庫に保管しておきます。

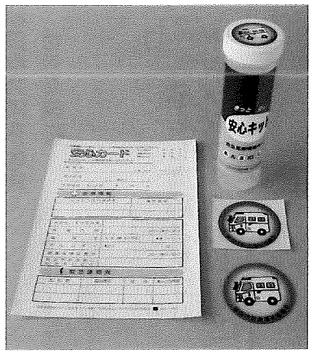
地区社協では、五月に民生委員の方々に配付対象者のリストアップをお願いしたところ、約二百五十世帯に及ぶことが分かりました。

この結果を基に、七月から各町内会ごとに会長・民生委員の方々のご協力を得て、設置希望者への配布をお願いしましたが、二十四年一月末現在の配布実績は二百三十三世帯、二百八十五名となりました。

消防本部からは、救急搬送時にキットが活用され、的確に処置された事例が相当数あると報告されております。

平成23年度「安心キット」配布実績（24年１月30日現在）

町内名	75歳以上一人暮らし	80歳以上だけの世帯 世帯数	80歳以上だけの世帯 人数	その他世帯 世帯数	その他世帯 人数	計 世帯数	計 人数
将軍野四区	51	13	25	12	17	76	93
遊園地北	9			3	3	12	12
遊園地東	6	1	2	1	1	8	9
遊園地南	8	2	4	6	10	16	22
松園町	4	2	4	2	2	8	10
高野二区	1	2	4			3	5
松宮町	10	3	6	9	9	22	25
栄町	18			2	2	20	20
東花園町	21	9	18	1	1	31	40
二葉町	23	10	20	4	6	37	49
計	151	42	83	40	51	233	285



今後配付対象となられる方、対象とならなくても設置を希望される方は、町内会長や民生委員の方にご相談ください。

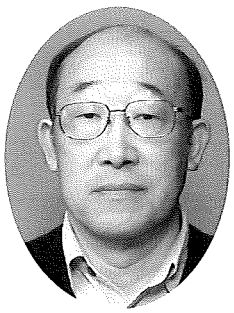
募金等のご報告

今年度は、春先に発生した東日本大震災の被災地に対する義援金の募集を行いましたが、各町内会や個人の方から多大のご協力をいただきました。地区社協の義援金を加え、秋田市社会福祉協議会を通じて送金いたしました。心からお礼を申しあげます。

また、毎年ご協力いただいております、市社協会員会費および各種募金については、東日本大震災に係る義援金の募集があったにもかかわらず、各募金とも若干ながら前年を上回る善意が寄せられました。ご協力に重ねて御礼を申しあげます。

今後とも、変わらずのご支援ご協力をお願いいたします。

「反　省」



将軍野四区
民生・児童委員
加賀谷敏春

一昨年の十二月一日に秋田市正庁において民生委員・児童委員の辞令をいただいてから、民生委員・児童委員の各種研修、地区社会福祉協議会の諸行事、町内会の各種会合、小中学校の各行事そして寺内地区民生児童委員協議会の定例会等、毎月開催される諸行事に右も左もわからず、ただ諸先輩についていくだけで「あっ」という間の一年が過ぎました。

私が民生・児童委員になるキッカケは、市役所を退職して時間的な余裕があったこと。いつかは地域の皆様のお役に立ちたいと考えていたこと、等のタイミングで町内会長から民生委員のお誘いを受け、良い機会と思い、その場で委員を引き受けることにしたのが始まりです。

委員となった昨年の三月十一日に、東日本大震災が発生しました。当地域では家屋等の倒壊はなかったものの一帯が停電となり、地域の皆様は不安な一夜を過し、一部の人は地域センターに避難をしましたが、幸い大きな災害とはならず「ホッ」としたところです。

その時の私の行動は、担当地域を数回巡回していますが、家屋等の被害に重点を置いており、被害がないことに安堵しておりました。しかしながら、民生・児童委員にとって最も大事な地域住民の安否確認の「声かけ」を失念していたのです。大いに反省いたしております。

民生委員・児童委員信条の中に、「わたくしたちは、隣人愛をもって社会福祉の増進に努めます。」「わたくしたちは、常に地域社会の実情を把握することに努めます。」という条があります。一年目の反省を踏まえ、この信条の意を基本として、行動したいと考えております。地域の皆様、二年目となる私をどうぞよろしくお願いいたします。

敬老会を開催

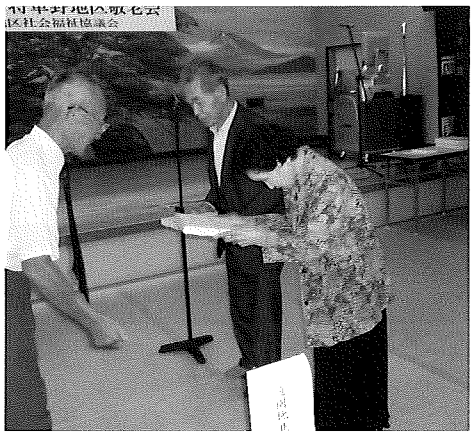
平成二十三年度の敬老会は次のとおり開催されました。

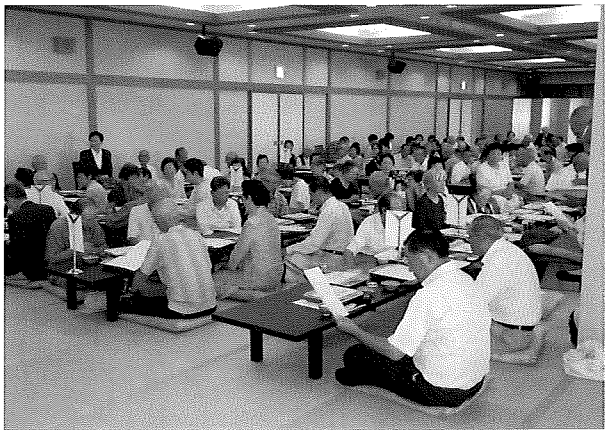
開催日　九月十五日（木）
場　所　秋田温泉プラザ
対象者　九七一名
（昭和十二年四月一日生以前の方）
参加者　敬老者　一〇七名
来賓、町内会長、
民生委員ほか
計　一三〇名

秋田温泉での開催も七年目となり定着してきたせいか、参加者は昨年より約二〇名多くなりました。

奥村会長の開会あいさつ、将軍野交番佐藤所長の祝辞、そして、秋田市長、秋田市社会福祉協議会長のお祝いメッセージが紹介された後、アトラクションとして、秋田県でただ一つのチンドン屋さん「ダースコちんどん隊」により、にぎやかなパフォーマンスを繰り広げていただきました。ちんどん隊のリーダー、カチューシャ安田さんは高野二区のご出身と言うこともあり大いに盛り上がり、皆さんに楽しんでいただきました。

また、ゆっくりと温泉に浸る方、食事をしながら語られる方、カラオケで自慢の歌を披露される方など、それぞれ有意義な敬老の日を過ごしていただけたことと思います。





平成23年度　敬老会対象者数および出席者数

	町内会名	対象者数	参加者数		町内会名	対象者数	参加者数
1	将軍野四区	262	21	7	松宮町	53	10
2	栄町	140	14	8	遊園地北	42	5
3	二葉町	131	1	9	松園町	37	7
4	東花園町	131	18	10	遊園地東	31	6
5	高野二区	85	12	11	火力	0	
6	遊園地南	59	13		合計	971	107

「憩いの集い」について

普段から、多くの方と集いあったり、遠出をする機会が比較的少なく、引きこもりがちなお一人暮らしの高齢者の方々に、バス旅行を兼ね、連れ立って出かけ、ふれあい語らいながら楽しい一日を過ごしていただこうと、毎年「憩いの集い」を実施してきましたが、今年度は次のとおり開催しました。

開催日　十月二十五日（火）
場　所　大仙市太田
　　川口温泉「奥羽山荘」
　　（わらび座）
参加者数　総員　五十八名

参加者は、九時二十分に集合、三十分に出発し、途中神岡の道の駅での休憩を挟み、約一時間半で奥羽山荘到着、早速入浴される方、同所で展示されているジブリ作品でお馴染みのアニメ背景画家の男鹿和雄さんの作品を鑑賞する方など、くつろいだ後、一番のお楽しみの昼食。

食事の間には、わらび座のご好意による団員の太鼓と踊りの民謡ショウを楽しんだ後は、恒例のカラオケで自慢の喉を披露しました。

また、帰り道では、道の駅での買い物と楽しく一日を過ごしていただきました。

お世話をしていただいた民生委員の皆さんありがとうございました。

「桜竹」様から車椅子贈呈〃ご利用下さい

昨年八月、(株)桜竹様から当社協に車椅子を贈呈いただきました。

(株)桜竹様の創業六十五周年記念事業として、市内十二地区の社会福祉協議会に対し贈呈戴いたものです。

同社のご好意に心から感謝を申しあげますとともに、ご好意に報いるべく、有効に活用させていただきたいと思います。

車椅子は、将軍野地区コミュニティセンターに置きますので、センターでの利用のほか、買い物や病院などへの外出時や短期間の旅行、その他ご利用になりたい方への貸し出しを行いますので、地区社協へ申し込みの上ご利用ください。